



「子供の尊い命を守り、無限の可能性を伸ばす」陣屋小学校

陣屋小だより

学校教育目標
かしこく
やさしく
たくましく

令和5年11月1日
第7号

プレッシャーを楽しめる 強い陣屋っ子に！

校長 保戸田雅之

昼と夜の寒暖差が大きくなり、体調管理が難しい季節となってきました。日没が日ごとに早くなり、夕方の交通事故等にも注意が必要です。

さて、先日の運動会には、多くの保護者の皆様にご観覧いただきありがとうございました。また、前日から当日にかけて保護者の皆様、PTA役員の皆様、おやじの会の皆様に多大なご支援をいただきました。会場設営や片付け、駐輪場の整備等、本当にお世話になりました。朝からの雷雨で、20分間遅らせての開会となりましたが、短期間で一生懸命練習に励み、精一杯の演技を見せた子供たちの姿に感動しました。

【うらじゃ～陣屋っこ version～3,4年生】

鳴子の音と子供たちの元気な掛け声が、澄んだ青空に響いて、とても爽快でした。練習の時よりもよく声が出ていて、本番に強い中学年らしさがあふれていました。



【JINYAbooree Mickey 1,2年生】

4色の蝶ネクタイと手首に着けたヒラヒラが鮮やかで、かわいいダンスでした。跳ねるように踊る動作を本当に楽しんでいる様子が素敵でした。シャッターチャンスがたくさんあったのではないのでしょうか。



【2023 僕らが描く友との地図 5,6年生】

流行りの曲にのって軽快に踊る様子に「最近の若い子は…」と、時代の変化を感じました。また、後半のフラッグの演技は、旗の動きだけでなく、一人一人の目線にまで気を配る高学年の表現力に感動しました。



一方で季節外れのインフルエンザの流行などにより出場がかなわなかった子供たちもいました。運動会は大きなイベントですが、学校生活の一部分にすぎません。また次の機会で活躍してくれることを期待したいです。

プレッシャーを楽しむ

運動会の徒競走でスタートラインに立っているとき、ダンスが始まる最初の音を待っているとき、普段の授業で発言するときなど、様々な場面でどの子もそれなりに緊張をします。でも、その緊張を乗り越えた後の安堵感や達成感は、確実に子供たちの成長につながっています。

野球で活躍した鈴木一郎さん（イチロー選手）は、「壁というのは越えられる人しかやってこない。だから、壁があることはチャンスだと思っている。」と言ったそうです。今の世の中、いろいろなことに配慮が行き届きすぎて、耐える力を身に付ける機会が少なくなったようにも思います。プレッシャーを



楽しむことができるくらいのたくましさや、陣屋っ子に身に付けてほしいと願っています。